

平成 29 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 代表者名 代表取締役社長 松井 健二
 (コード：4929 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理本部本部長 中川 秀男
 (TEL 078-351-3136)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 22 日に公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 22 日発表)	百万円 5,135	百万円 768	百万円 769	百万円 450	円 銭 56.62
今回修正予想 (B)	4,760	450	456	291	36.82
増減額 (B-A)	△374	△317	△312	△158	
増減率 (%)	△7.3	△41.4	△40.6	△35.1	
(ご参考) 前期実績値 (平成 28 年 3 月期)	4,401	647	707	266	33.83

2. 修正の理由

今年度は、非正規流通対策におけるトレーサビリティシステムの稼働が堅調であると共に、代理店の協力によって、インターネットサイト等による非正規流通対策が想定以上の効果を上げることができました。一方で、新商品を上市せず既存主力商品の拡充に取り組みましたが、昨年度リニューアルした主カスミンケア商品の売上高が想定を大きく下回ることに加え、カラー剤のサロン導入の進捗に遅れが目立つ等、非正規流通取引先との契約解除による売上減少を補うには至らず、売上高は計画を下回る見込みであります。

利益面につきましては、売上原価率、研究開発等の販管費は計画通り進捗しているため、上記要因による売上高の減少が利益を圧迫したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益がそれぞれ前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上